

### I

#### ■出題のねらい

女性の社会進出、とりわけ政界への進出を題材にした問題です。ところどころ難しい語が用いられており、文脈から読み取る力が求められます。とはいえ、よく取り上げられる題材のひとつでもあるので、関連する語彙を身につけておくことをお勧めします。

#### ■採点講評

少し難しい問題だったようです。特に正答率が低かったのは [ 1 ] と [ 2 ] でした。

[ 1 ] は基本的な熟語の問題です。日本語の「注意を引く」から②pullを選んだ受験生が多かったようですが、正しくは draw attention です。日本語は英語の理解の助けになりますが、正確に把握するには語がどのように用いられるのかを例文などで確かめる必要があります。

[ 2 ] は選択肢の語の意味を理解する必要があります。いずれも基本的な語ですが、正答の③pillar（柱）は本文中では比喩的な意味（要・大黒柱）で用いられています。日本語と同じように用いられることも興味深い点です。

### II

#### ■出題のねらい

タイムトラベルに関する2人の会話です。過去に戻るのか未来に行くのか、またそれぞれの希望と不安が描かれた内容となっています。内容を整理しながら読むと会話全体が把握しやすくなるでしょう。

#### ■採点講評

全体的によくできていました。ただ、[ 10 ] と [ 12 ] は難しかったようです。[ 10 ] は I think I'll stick with what I know. の意味を問う問題です。この発言は Don によるものですが、この少し前で Don は未来に行くことにも過去に戻ることに否定的な発言をしています。それを踏まえると、②I think I'll stay in the present and not go time travelling. を選ぶことができるでしょう。もちろん stick with ~（~を堅持する・~にこだわる）を知っているとより容易に解答できたでしょう。[ 12 ] は要約の問題で、会話の流れの把握が重要となります。また選択肢に含まれる重要表現の知識が必要となります。たとえば①の be interested in ~（~に関心がある）や be keen on ~（~を熱望している）、④の the more ~, the more ...（~すればするほど...）などは是非覚えておいてほしいものです。

### III

#### ■出題のねらい

スマホのアプリを利用した新型の信号機に関する英文です。空所補充、整序、内容把握などを含む総合問題です。

#### ■採点講評

全体的によくできていました。特に [13]、[17]、[19] はよくできていました。一方、正答率の低かったのは [15] と [18] でした。[15] を解くには直前の have been set を考慮に入れる必要があります。受動態であることを踏まえ、①set ~ out (～を説明する)、②set ~ off (～を引き起こす・～を引き立たせる)、③set ~ against … (～を…と対比する)、④set ~ aside (～を取っておく) といった熟語の知識が求められます。日頃から語だけでなく熟語にも注意を払うようにしましょう。[18] は整序問題ですが、want の基本的な使い方を知っている必要があります。want to V (Vしたい) は知っていると思いますが、want ~ to V (～にVしてほしい) という用法も覚えておいてほしいものです。この表現では～と to V に主述の関係がある点が重要であることも確認しておきましょう。

### IV

#### ■出題のねらい

シンガポールの農業事情に関する新聞記事からの出題です。ところどころ難しい語が用いられていますが、論旨は明確で理解に困ることはほとんどないと思われます。

#### ■採点講評

易しい問題だったようで、全体的によくできていました。ただ、[21] が少し難しかったようです。これは空所補充の問題なので、まずは前後をしっかりと確認しましょう。… there's [21] space for farming in Singapore because we are land scarce とあり、because 節が分かると空所を埋めることができます。scarce は「不足している・不十分な」を意味し、土地不足から予測されることが答えとなります。few が可算名詞と共に用いることも解答の助けとなります。また [23] も少し難しかったようですが、文脈から判断できます。Farming was once [23] in the country, but dwindled …において、dwindle (減少する) はやや難しい語ですが、この後にシンガポールが発展するという旨の内容が続きます。国が発展するにつれ農業が衰退することは、日本が辿ってきた歴史を知っていれば容易に想像できるでしょう。そうすると、かつては農業がありふれたものだったことが分かり、②common を選ぶことができるでしょう。

# V

## ■出題のねらい

時間の感覚に対する文化間の違いについて書かれた英文です。平易な英語で書かれているものの、読解力の求められる英文です。

## ■採点講評

5つの大問のうち最も難しい問題だったようです。特に問題文の前半はトピックの導入部で、話がどのように続いていくのか捉えづらかったかもしれません。特に正答率が低かったのは 26、30、32 でした。26 は同義語を選ぶ問題です。問題文の「文脈を変えずに置きかえられる」とは、選択肢の語を本文に入れても問題ないことを意味します。よって、選択肢の品詞にも注意を払う必要があります。下線部の handcuffed は、前後から handcuff の過去分詞であることが分かります。選択肢のうち過去分詞は①bound と③untied であり、意味が近いのは①です。なお、handcuffed は難しい語ですが、handcuff（手錠）を知っていれば「手錠をかけられる」から「抑制される」のように推測できるかもしれません。30 は空所補充問題です。30 は文の述部なので、主語を確認しましょう。主語は understanding … culture でおおよそ「時間に関する想定を理解すること」です。正答は③challenging（やりがいのある）ですが、日本語のチャレンジとは少し異なるので注意が必要です。最後に 32 は内容一致問題です。誤って②と③を選んだ受験生が多かったようです。②は前半が内容と一致しているものの後半が異なります。③は日本について書かれた文ですが、本文では日本への言及がありません。この種の問題は本文から根拠を探すことが求められます。普段からそのような問題の解き方に慣れておくとよいでしょう。